

令和2年7月豪雨における 寺内ダム^{てらうち}の防災操作^{さ た が わ}について

独立行政法人水資源機構が管理する筑後川水系佐田川の寺内ダム（福岡県朝倉市）の流域では、九州北部付近に停滞した梅雨前線に伴う豪雨により、7月5日18時から8日3時までの総雨量が527mmを記録し、計画規模（毎秒300立方メートル）を超える洪水の流入がありました。

この洪水に対して、寺内ダムでは防災操作^{*}を実施し、最大流入量が毎秒約333立方メートル（管理開始後3番目に多い）の時に、約64%に相当する毎秒約214立方メートルの水をダムに貯留し、総貯留量は約357万立方メートルとなりました。

この防災操作により、寺内ダムの下流約8.5kmにある金丸橋水位観測所^{かなまるばし}では、ダムが無かった場合に比べて、河川水位を約1.57m低減できた^{*}と推定されます。

また、その後の断続的な降雨の影響により、10日から11日にかけてダムへの流入量が再び増加し、更に2回の防災操作を行いました。

10日 15:50 最大流入量 毎秒約112立方メートル

11日 4:30 最大流入量 毎秒約125立方メートル

^{*}「防災操作」とは、大雨の際にダムに流れ込む水の一部を一時的にダムに貯め込むことで、ダムから下流に流す水の量を減らし、下流の川の水位を低減させるダム操作です。

今回の発表は速報値であり、数値等は今後の調査により変わることがあります。



令和2年7月11日

独立行政法人水資源機構^{みずしげんきこう} 筑後川上流総合管理所

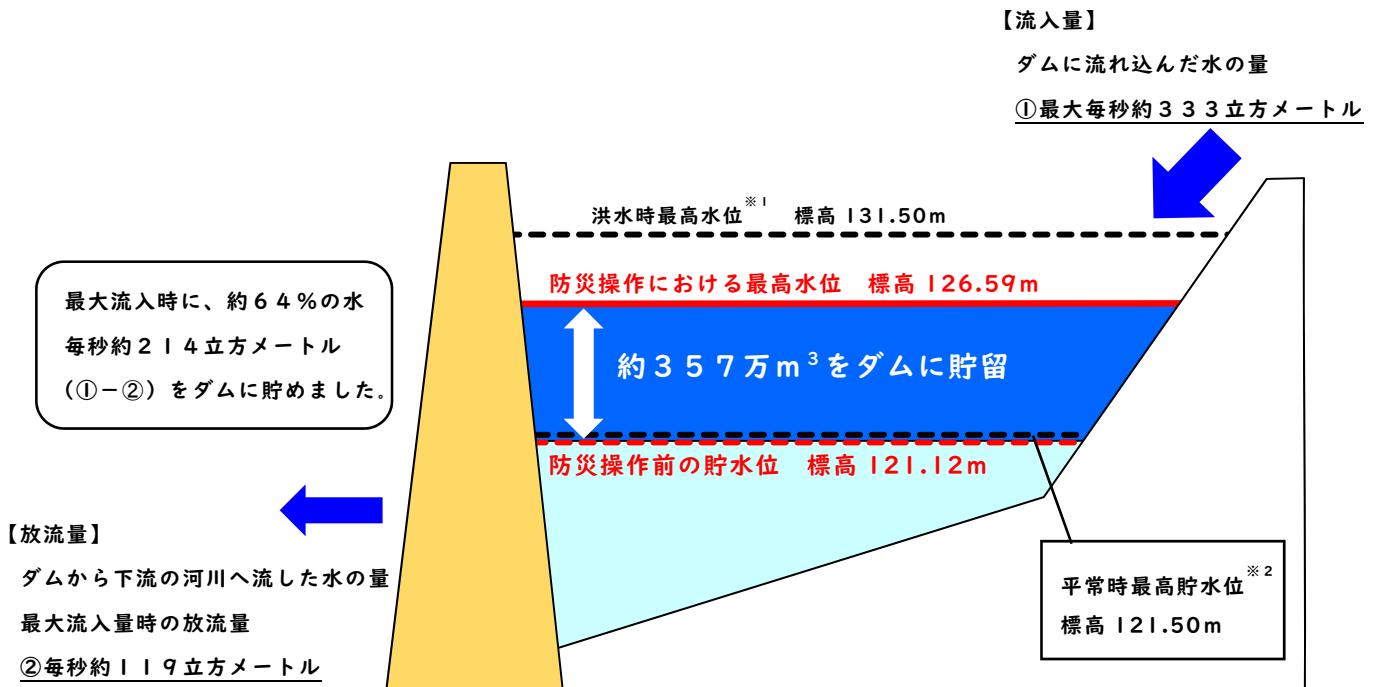
配布先	
国土交通省九州記者会	九州建設専門記者クラブ
西日本新聞朝倉支局	読売新聞筑紫支局
毎日新聞福岡南支局	朝日新聞太宰府支局

問い合わせ先	
独立行政法人水資源機構	筑後川上流総合管理所
	管理課長 ^{しまもと} 島本
住所	: 福岡県朝倉市江川 1660-67
電話	: 0946-25-0113
HPアドレス	: https://www.water.go.jp/chikugo/asakura

寺内ダム位置図



寺内ダムの洪水時防災操作

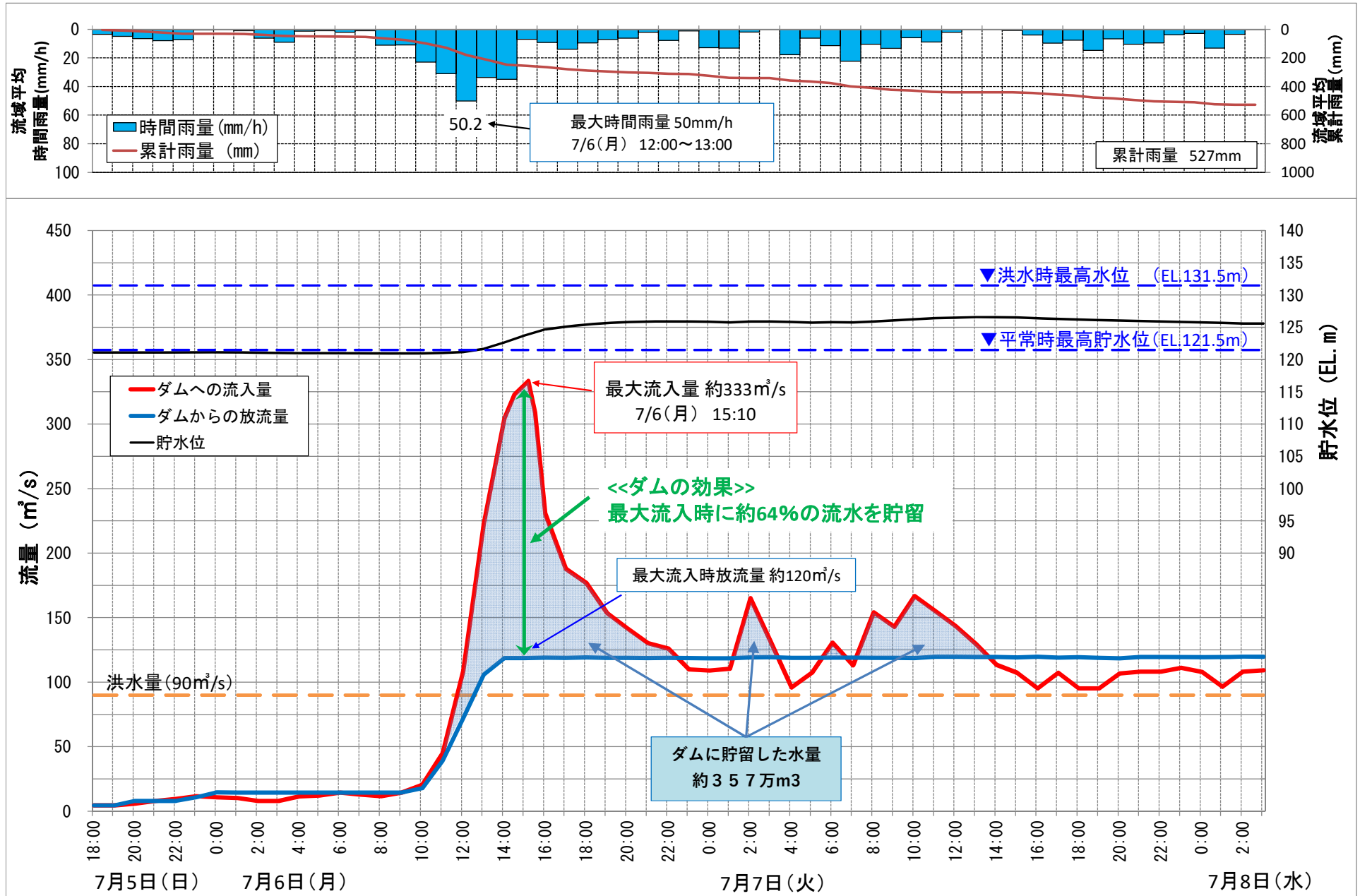


※1 洪水時最高水位：洪水時にダムによって一時的に貯留することとした流水の最高水位

※2 平常時最高貯水位：平常時にダムによって貯留することとした流水の最高水位

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

寺内ダム防災操作図 令和2年7月5日～8日



ダム下流河川の水位低減効果



金丸橋水位観測所における、ダムに流れ込む水を貯めて川の水を減らしたことによる効果

① ダムがなかった場合

推定最高水位 4.94 m

※推定最高水位には誤差が含まれます。

②ダムに流れ込む水を貯めたことによる
河川最高水位

観測最高水位 3.37 m

ダムに水を貯めたことによる効果 (①-②)
金丸橋河川水位観測所付近の河川水位を
約 1.57 m 低減させています。

※この数値は速報値です。

